

千葉県中小企業団体事務局責任者協会機関紙

第12号

事務局責任者協会だより

発行 千葉県中小企業団体事務局責任者協会
 住所 千葉市中央区富士見2丁目22番2号
 千葉中央駅前ビル3階
 千葉県中小企業団体中央会 工業連携支援部内
 TEL 043-306-2427 FAX 043-227-0566

組合事務局強化事業（組合運営・企業経営研究会）を開催しました。

事務局責任者協会だよりの第12号を刊行できましたことを、関係各位に心より感謝申し上げます。
 さて、去る6月7日（金）に、本協会と千葉県中小企業団体中央会との共催による組合運営・企業経営研究会を開催しました。

今回は、人材確保と人材育成をテーマに友光経営労務事務所 代表 友光俊郎 氏にご講演をして頂きました。組合及び中小企業は、事業計画及び経営計画に基づいて、昨今の厳しい経済状況を乗り越えるべく、様々な事業活動を行っておりますが、その事業活動の根幹をなすものは「人材」であります。しかし、近年の多様化する社会環境においては、従来の雇用確保や人材育成方法では、ミスマッチが生じているのが現状であります。少しでも会員様の事業運営、企業経営にお役に立てれば幸いです。

簡単ではありますが、講演の内容をご紹介します。時代の変化と共に経営者に求められる資質も変化しており、「心を理解する努力」が経営者には求められています。実は、30年前に比べると、雇用の働く意識に変化が生じており、それに対応するために「心理学の応用力」が求められているのです。

これから労働人口の減少が予想される日本において、「会社」が雇用者を選ぶ時代が終わり、「雇用者が会社を選ぶ時代」がやってくるという、そのための対策が必要となってきています。現代において、人材確保が上手くいっていない一番の原因は「団塊の世代とのギャップ」であり、物事の捉え方、考え方から埋めていかなければならないと、次に必要となるのは若年者に意見を言わせる環境づくりが大事になります。積極的に意見を述べさせることが、ギャップを埋めるための近道になるそうです。

では、そのギャップとは何でしょうか。若年者の定着率から見ると、本来重要と思われる労働条件や賃金面では定着率に大きな変化がないこと、そして、あまり注目されていなかった風通しの良い職場と個々の成長を促す取り組みを行っている企業ほど定着率が高いことが最近の調査で分かったそうです。

風通しの良い職場環境作りと個々の成長を促す取り組みを心掛けることにより、難しいと思われていた中小企業においても、人材の確保と定着が容易になっていくことが分かります。

次に、人材育成のシステム作りが大事になるのですが、教育訓練が独り歩きをしては意味がありません。しっかりと管理システムや段階的な道筋を作る事により、個々の目標意識が高まり、スキルも効率よく高めることが出来ます。

管理者は「目標管理カード」を用いて、個々の社員の目標を管理、定期的に面接を行うなど、管理者としての役割を見直すことから始めます。

個人目標の進捗、成果を評価し、仕事のできるチーム作りが良い職場環境の基盤となるわけです。

最後に、人材確保と育成において、良い職場環境作りが重要な鍵になるとまとめ、本講習会は終了しました。今後も皆様のお役にたてるような講習会を企画してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

千葉県鍍金工業組合

【組合の概要】

所在地 柏市高田1114・3
 株式会社フツカクローム内
 電話 04・7140・2101
 設立 昭和46年5月7日
 理事長 瀧澤 近弘
 組合員 13名
 出資金 163万円

【設立の経緯】

当組合は、零細企業が多い鍍金業界において、労働力不足、技術水準の低さ、都市化の進展に伴う公害問題、過当競争等不安定な経営上の要素が多すぎ等、何か対策を講じなければ、企業の将来は衰退の一途を辿らざるを得ないとし、大同団結する以外に方法はないとし工業組合を設立した。

【主な事業活動】

- ・ 排水処理設備等の保守管理
- ・ 産業廃棄物の保管及び適正処理
- ・ 千葉県主催の巡回相談等への協力
- ・ 人材育成等に関する講習会（研修会）等の開催
- ・ 後継者育成などに関する研修会の開催
- ・ 労働災害防止策
- ・ 健康管理のための活動



設立当時から、環境等の規制が厳しかったため、当時の「千葉県環境白書」には毎年数社が千葉県環境規制（国の率規制より厳しい、10分の1規制）により軽微の違反をしていたとし、当該白書において公表されてきました。組合では、当時の千葉県機械金属試験場（現千葉県産業技術研究所）の協力の下、年2回の全組合事業所の排水設備等の巡回指導を実施し、それに伴って組合員の環境改善に対する意識が強くなり、約十数年後には排水違反はゼロとなりました。

昭和53年度には、組合員の意識向上のために千葉県中小企業団体中央会の指導の下により、活路開拓調査支援事業（めつき向上における公害防止調査研究と技術開発について）等を2回実施。平成6年度には、通商産業省の指導により当時施行された「労働法」により、本組合員各企業のさらなる発展を志向し、労働力確保推進事業に取り組みため、組合で企画、実行しました。

【今後の課題】

近年、公害防止は組合員の努力により当該規制の違反は皆無となっており、産業廃棄物処理、労働安全等についても組合での指導の上で全組合員が実施出来ています。
 しかし、後継者が不在のために事業を止む無く廃業する組合員が多くなってきたり、組合の運営は賦課金により賄われている状態である。今後は、事業収入の拡大が難しくなってきたり、組合活動の活性化について充実を図るべく、組合を挙げて取り組んでまいります。
 今後とも、地域貢献を果たすとともに、資源循環型社会の構築に向けて一翼を担えるよう努力してまいります。皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

茂原卸商業団地協同組合

【組合の概要】

所在地 茂原市小林1978・8
 電話 0475・24・6101
 設立 昭和51年3月8日
 理事長 秋葉吉秋
 組合員 15名
 出資金 1,800万円

【事業の背景と目的】

当組合は、平成24年で組合設立35周年を迎えたことを機に、組合の愛称を決定し、一般消費者に浸透させ、組合の魅力をより多くの人に伝えると共に、組合のイメージアップを図り、組合を活性化させるため「愛称プロジェクト」を、青年部が立ち上げました。

愛称に代表される、本名以外の名称を用いて、ご利用いただくお客様などに浸透させ、親しみと愛着を感じていただく方法は、最近よく見られています。地元の卸売業者を構成員とする組合として、近隣の方々に少しでも親しみや愛着を持ってもらいたい、そんな願いが込められています。

【事業の取り組み】

千葉県中小企業団体中央会の助成事業である「青年部研究会」を活用し、事業に取り組みました。
 注目度をより高くするために、組合の35周年の記念事業としました。また、組合を構成する会社の社員や関係者には、組合の愛称についてより強い関心を持ってもらい、一般消費者には、組合の愛称がPRしやすくなるという観点から公募という手法を採用することにしました。

進行方法としては、「企画」、「募集」、「審査」の3段階に分けて行うことにしました。「企画」では、公募期間、公募方法、応募回数等を、「募集」では、募集要項の作成（ポスター）、広報活動の方法等を、「審査」では、審査方法、審査員の公表や当選者の決定方法等を決定しました。

募集期間は、比較的時間が取れるであろう正月休みを含み、2ヶ月間とし、応募しやすくするためにFAX、メール、ハガキと幅広く活用しました。
 2ヶ月間の募集で、443件の愛称が集まり、茂原市内だけでなく、全国から募集があり、プレインストミングを用いて、一つずつ選考していき、最終的に約10個の作品に絞り込みました。選考に選考を重ねた結果、「もばらオロシテイ」と決定し、組合のホームページに掲載、営業用車のマグネットを作製し、組合員に配るなどして広報活動に取り組みしています。

【事業の成果】

決定した愛称「もばらオロシテイ」は、「茂原」という地名と「卸」という言葉が含まれているため、組合の愛称として好適であると判断し、イメージアップを図るツールとしても優れていると思っております。

【今後の課題】

今回決定した愛称である「もばらオロシテイ」が価値を生み出すかどうかは、組合の今後の広報活動に依存すると考えています。
 愛称を決めたとはいえ、組合のイメージアップ等にそのままなる保証はありません。今後どのように露出度を高めるか、一般消費者に対して浸透させ、親しみと愛着を感じていただくかが重要であると思えます。
 本年度は、千葉県中小企業団体中央会の助成事業である「連携組織活性化研究会」を活用して、今後どのように展開していくかを検討してまいります。



千葉県中小企業団体中央会助成事業の概要

本会では、組合等連携組織が実施する各種研究会の事業に対して支援を行っております。各種助成事業は次のとおりになります。なお、本年度においては、募集枠に達しているため、個別専門指導事業を除き、募集は締め切っております。

・連携組織活性化研究会

組合等が自ら抱える様々な経営課題を解決するため、企業による個別対応策や組合等による組織対応策を、専門家を交えながら検討することにより、組合員企業の底上げを図ったり、組合等の持続的な成長を遂げることを目的に研究会を実施する場合、本会が事業費の一部負担等の支援を行います。

・組合等新分野開拓支援事業

組合等が自らの経営課題を解決するための手段の一つとして、組合及び組合員の分野進出、新製品の開発、新技術・新サービスの導入等の研究に取り組むため、講義方式、実習方式、討論方式、懇談方式等を用いた自主的な研究会を行う場合に、本会が経費の一部負担等の支援を行います。

・青年部研究会

組合の青年部活動を推進するため、青年部が主体となって企業経営、組合運営等に関する研究会を開催する場合、本会が経費の一部負担等の支援を行います。

・個別専門指導事業

本会がそれぞれの分野の専門家を相談員として委嘱し、直面している課題に対し、要請に基づいた専門家を選定、直接的な支援・助言を通して、課題の解決を図ることにより、中小企業及び中小企業組合等の活性化、発展に寄与することを目的とする。

本事業については、専門家謝金、旅費(実費)等の経費の全額を本会が負担いたします。

(全国)中小企業団体中央会の実施事業

・中小企業組合等活路開拓事業

中小企業が経済的・社会的環境の変化に対応するため、新たな活路の開拓等、単独では解決困難な諸問題に組合等を中心に取り組み、将来ビジョンの策定等を行う事業に対し支援を行います。

補助対象経費総額の10分の6以内(平成25年度実績)

補助金額(上限) 11,588千円(下限) 1,000千円

・組合等情報ネットワークシステム等開発事業

組合等を基盤とした情報ネットワークシステムの構築、組合員向け業務用アプリケーションシステムに関する調査研究・開発及びこれらの普及のための事業に対し支援を行います。

補助対象経費総額の10分の6以内(平成25年度実績)

補助金額(上限) 11,588千円(下限) 1,000千円

実施方法・助成額・応募締切などの詳細につきましては、千葉県中小企業団体中央会までお問い合わせください。

千葉県の歴史と情報

香取神宮

昨年度のサークル活動にて散策をしました香取神宮を取り上げさせていただきます。

香取神宮は香取市香取にある神社であり、式内社(延喜式の内に記載された神社)※延喜式とは、三代格式の内では完全な形で残っており、細かな事柄まで規定されているため、古代史研究のうえで重視されている。)で下総国一宮(下総国の中で最も社格の高いとされる神社)である。本殿及び楼門は江戸時代の建立で、ともに重要文化財に指定されている。

関東地方を中心として全国に約400社ある香取神社の総本社であり、鹿嶋市の鹿島神宮、神栖市の息栖神社とともに東国三社の一社として、初詣には毎年50万人以上が参拝している。他の東国三社の鹿島神宮、息栖神社とあわせて、大地に直角二等辺三角形を描くかたちに位置しており、鹿島神宮は約13km、ほぼ正確な北東、息栖神社は約8km、ほぼ正確な東に位置している。古代の朝廷によって、蝦夷(日本列島の東方(現在の東北地方)や北方(現在の北海道地方)に住む人々を異端視・異族視した呼称)に対する前進基地として鹿島神宮とともに重要視された神社である。古来より軍神としての性格が強く、武術の道場には「鹿島大明神」、「香取大明神」と書かれた2軸の掛軸が対で多く掲げられる。

地震をおこす大鯨

昔から、この地方は地震が頻発し、人々はいたく恐れていました。これは地中に大きな鯨が住みつき、大暴れしていると信じられていました。香取・鹿島の二柱の大神たちは地中に深く石棒をさし込み、鯨に頭と尾を押しさせ地震を鎮めたと伝わっています。

この石棒は要石(かなめいし)と言われ、大部分が地中に埋まった霊石である。香取神宮の要石は凸型で鯨の尾、鹿島神宮の要石は凹型で鯨の頭を押し込んでいるとされ、2つの要石は地中で繋がっているとされています。

1664年、水戸黄門で有名な徳川光圀が要石の周りを掘らせたことが2日続いた後、次は昼夜兼行で7日7晩掘り続けたが、底には達しなかつたそうです。また、1855年10月の安政大地震後、地震が起こったのは大神が10月11日神無月で出雲へ出かけたからという説も残っています。

3社のうちの1社

要石の力により、これらの地域には大地震がないとされている。大鯨は日本全土に渡るとされ、護国の役割も成しています。なお、日本で古来より「神宮」を名乗っていたたつた3社のうちの1社であり、重要性がうかがえます。ちなみに残りの2社は鹿島神宮と伊勢神宮です。

最後に残りますが、本年度、開催します中小企業団体全国大会は岐阜県大津市で開催されます。なお、今回は前述にあります三重県・伊勢神宮への観光も予定しております。本年度は20年に一度の神宮式年遷宮(じんぐうしきねんせんぐう)が行われます。

神宮では、原則として20年ごとに、内宮(皇大神宮)・外宮(豊受大神宮)の二つの正宮の正殿、14の別宮の全ての社殿を造り替えて神座を遷す。このとき、宝殿外幣殿、鳥居、御垣、御饌殿など計65棟の殿舎のほか、装束・神宝、宇治橋なども造り替えられます。記録によると神宮式年遷宮は、飛鳥時代の天武天皇が定め、持統天皇の治世の690年に第1回が行われ、その後、戦国時代の120年以上に及ぶ中断や幾度かの延期などはあったものの、1993年の第61回式年遷宮まで、およそ1300年にわたって行われていました。

2005年から第62回式年遷宮の各行事が進行中で、2009年に主要な行事である内宮に係る「宇治渡始式」が斎行され、2013年には正遷宮(神体の渡御)が予定されています。ぜひ、皆様ご参加ください。

会員組合関連事業・イベント等のご案内

去る5月8日、本機関紙及びホームページを中心とした広報事業のさらなる充実を図るため、会員の皆様に候補事業に関するアンケートにご協力頂きました。大変多くのご回答を頂き、誠に有難うございました。ここでは、アンケートにご記入頂いた本協会会員組合に関連する事業・イベント等をご紹介します。

平成25年7月

○柏まつり(柏市工業祭)：27日～28日(柏市工業団地協同組合)

平成25年8月

○船橋総合卸商業団地FOC夏祭り：2日(船橋総合卸商業団地協同組合)

平成25年10月

○野田市産業祭：10月5日～6日(野田工業団地協同組合)

○千葉市民産業まつり：上旬(千葉県貿易協同組合)

○JFEちばまつり：下旬(千葉県貿易協同組合)

○第3回千葉とうふまつりinポータルタワー：20日頃(千葉県豆腐商工組合)

平成26年3月

○ワールドスシカップ2014：上旬(千葉県貿易協同組合)

先日のアンケートで得た情報を掲載させていただきましたが、今後につきましても会員組合に関連する様々な情報の提供を行っていきたくと考えておりますので、イベント開催情報だけでなく、各組合で提供できる役務、サービスなどの紹介・PRなどの情報提供もよろしくお願い致します。(千葉県中小企業団体中央会 工業連携支援部 木村)

TEL 043・306・2427

☆ちよつと小休止・計算問題☆

下記は、ある有名中学校の入試で出題された計算問題です。

□内に+、-、×、÷を入れ、また、()は

計算式が成立するならば、好きなように使うことができます。

※ただし、各記号は1回のみしか使えないものとする。

また、全て使用しなくても良く、好きなものを使ってもよい。

(問題)

$$1 \square 9 \square 1 \square 9 = 10$$

(ヒント)

①数学の法則(計算の順番) ②分数

(解答)

記号は下記のように使います。

$$(1 \div 9 + 1) \times 9$$

()内の計算が優先され、さらに乗除優先となりますので、

$$1 \div 9 + 1 = 10 \div 9$$

$$10 \div 9 \times 9 = 10 \text{ となります。}$$

